

一般社団法人 山梨県理学療法士会会報誌

SUPPORTERS

サポーターズ

No.146 2015 冬号

一般社団法人

山梨県理学療法士会ホームページ <http://ypta.jp/>

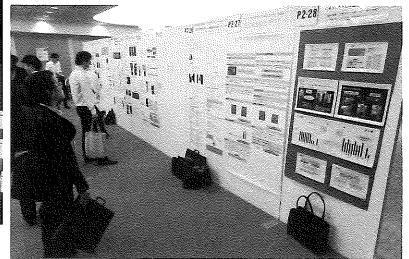
会員数 803 名

施設数 125 (12月1日現在)



第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会

主催 一般社団法人 山梨県理学療法士会 協賛 関東甲信越ブロック理学療法士会 後援 山梨県理学療法士会



「第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会」

Contents

特集

第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会報告…2～3

各部活動報告…4～6

- 公開講座部 ● 医療保険部・介護保険部
- スポーツPT部 ● 生涯学習部

お知らせ…6～7・9

- 事務管理局 ● 学術集會部 ● 学術研修部

リレーエッセイ Part 28…8

原稿募集…9

編集後記…9

「supporters (サポーターズ)」とは…

我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、『支える人』という意味の supporter に複数形の s を加え、supporters: 支える人たち(造語)の意味です。

準備委員長 山田 洋二

2015年9月12日・13日、アピオ甲府において第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会が高村浩司学会長の下で開催されました。参加者989名、公開講座の参加者を合わせて目標であった1000名を達成することができました。

山梨県理学療法士会の先生方におかれましては、私の至らぬ点もあり、ご迷惑をおかけする事もございましたが、演題登録・参加・運営スタッフ・座長・講師・司会など、学会運営に関わる全ての面について支えていただきました。また、諸先輩方にはいつも暖かい労いのお言葉や助言をいただきました。そして、準備や会期中に職場を守って下さった先生方へ心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

学会を振り返り、特に印象に残ったエピソードを2つご紹介します。

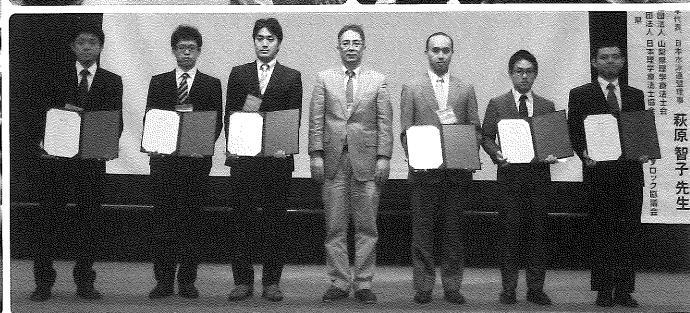
④ 日本理学療法士協会の半田会長は、開会式において「甲府駅で一生懸命誘導をされている方がいた。この方たちに支えられて学会が成立しているということを知って下さい」と述べられていました。

④ 2日目シンポジウムは9時開会でした。開会前に座席が埋まっていく様子を見て、学会サービスタ担当者の方は、「2日目9時にこんなに会場が埋まった学会は経験がありません」と感嘆されていました。

準備委員会は2013年2月より準備を進めて参りました。上記2つのエピソードは、準備委員会で出しあってきた知恵と努力が結集して成し得た事であると強く感じています。

学会が終了した現在、自問していることがございます。学会で示された「今、歩むべき道～生活を見据えた理学療法～」に向かっているのだろうかということです。この歩みを一歩でも進めるために、山梨県内で臨床、教育、研修に携わっておられる先生方同士の活発な議論を通して相互の連携が深まることで、山梨の地域性に即したりハビリテーションが提供されるのではないかと思います。末尾に、2016年1月17日第19回山梨県理学療法士学術大会へ、是非多くの先生方にご参加していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

④ 関ブロ学会 Photo



関ブロ学会を終えて

石和共立病院 武井 智洋

第43回関ブロ学会から3ヵ月が過ぎようとしています。参加された皆様は何かお土産を持って帰ることができたでしょうか？ 私は第2会場責任者という立場で参加させて頂き、多くの経験を得ることができました。運営という裏方的な仕事が嫌いではない、というより好きな方かと思います。会場責任者としてランシーバーを渡されたときは人知れずテンションが上がってました(笑)。この仕事に携われた中で最高のお土産は、他施設の先生方と交流が持てたことかと思います。近県に比べても規模の小さい県士会ですからもっと会員同士の顔や名前を知ることが組織としての前進にも繋がるのかな、と。県士会の仕事も「面倒くさそうだな〜」、と思わずに、「しょうがねえ、やってやるか」くらいの気持ちでやってみると世界が広がりますよ、ホントに。これから担っていくであろう方々との交流を夢見ながら、このような素晴らしい機会を与えて下さった全ての皆様に感謝しています。ありがとうございました。

学会スタッフを経験して～駅前誘導係～

あぐい 湯村温泉病院 安居院 啓介

今回の仕事内容は、学会参加者を甲府駅から会場へ向かうシャトルバスへ誘導することでした。駅前誘導係は改札前、北口階段前、バス乗り場にそれぞれ一人と限られた人数の配置であり、的確な案内が出来るか不安がありました。しかし、その点は全く心配いらず、常に臨床で『先を考える』事を行っているメンバーだけに臨機応変に行動し対応してくれました。外にいる我々にとって、気がかりだったのは本会場の状況です。そんな中、本部からの「会場は大盛況です」とのメールに安心することが出来ました。

当日は、バスに乗られる参加者の熱意に励まされたとともに、今まで自分が参加していた学会にも会場とは離れた場所で支えているスタッフが居て、学会を成り立たせるためには必ずその裏方の働きがあるということ、改めて知ることが出来ました。



関ブロ学会 Photo

各部活動報告

企画局 公開講座部発

□「第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会市民公開講座」報告

第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会市民公開講座が、平成27年9月13日にアピオ甲府において開催されました。今回は、シドニー五輪競泳日本代表として活躍し、現日本水泳連盟理事の萩原智子さんをお招きし、「いつも笑顔で～克己心～」をテーマにご講演いただきました。当日は学会中ということもあり、多くの会員も含め、145名の皆さんにご参加いただきました。



講演は、“克己心”という信念の元、幼少期からの競技人生での意識の変化や、周囲からのプレッシャー・ケガで悩んでいた頃の家族からの励ましの言葉や支え、オリンピック選考会を前にしてタイムが伸びない時にライバル選手から掛けられた言葉による考え方や取り組みへの変化等、周囲の方々との人間関係から様々なエピソードを分かりやすく話して頂きました。また、競技への想いや病気を乗り越えての五輪への挑戦、出産～現在の活動に至るまで、笑顔で水泳の普及活動に取り組みされる姿が印象的でした。限られた時間の中ではありましたが、参加者からの質問にも熱心に答えて頂き、最後まで“笑顔”の絶えない講演会となりました。最後に、市民公開講座にご参加いただいた皆様、また、広報活動など今回の企画にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

●問い合わせ先：企画局公開講座部 上田 修
(恵信りほく病院リハビリテーション室内 TEL 0551-28-8820)

福祉厚生局 医療保険部・介護保険部発

□医療・介護報酬に関する基礎的研修会報告

医療・介護報酬に関する基礎的研修会を10月27日(敷島総合文化会館)、10月29日(山梨県立青年センター)に開催しました。テーマを「保険制度を理解し、安心して働こう」とし、多くの会員の方へ出席していただけるように同一内容を2会場にて開催しました。参加者は両会場合わせて35名でした。保険制度の基礎的内容から、リハビリテーション分野における具体的な報酬や算定条件などについての内容でした。医療・介護保険制度の中で仕事をしているので、保険制度や報酬の知識を得ることは大切なことだと思います。今後も研修会に多くの参加をお願い致します。

来年度は診療報酬改定、平成30年には医療・介護報酬の同時改定があります。医療保険部としても、会員の皆様に、新しい情報を提供できるよう努めていきます。

医療・介護保険部

●問い合わせ先：医療保険部 小林泰彦 (rehabili@shiranetoku.jp)
介護保険部 河野裕一 (im-rehabili@kyonan-mc.jp)

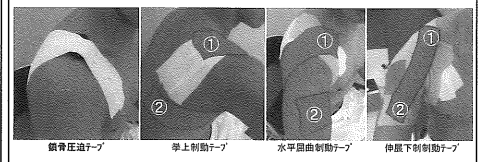
□ 地元山梨、第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会でのポスター発表を終えて

JCHO 山梨病院 理学療法室 小林 幸一郎

去る9月12日(土)第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会が開催されました。地元開催ということもありスポーツ理学療法部からは2演題を発表し、私は“肩鎖関節脱臼を呈した柔道選手に対して独自の方法でテーピングを行い競技復帰した一症例”というタイトルでポスター発表を行いました。皆さんもご存じのとおり、肩鎖関節脱臼は肩峰に対して鎖骨が上方に転位するもので、コンタクトスポーツに多いスポーツ傷害の一つです。そのテーピングは脱臼位の整復を目的に上方から鎖骨を押さえますが、上肢の動きには対応しきれない印象がありました。今回この問題を解決するポイントが解剖運動学です。この知識を基に上肢の動きを観察し、どのような方法でテープの張力を利用し肩鎖関節に加わる負荷を抑えたかを発表しました。この解剖運動学から動きの観察という発想は理学療法士ならではのものと思います。日常の臨床業務で忙しいとは思いますが、皆さんも普段行っている事を見つめ直し、その成果をぜひ学会等で発表してみたいはいかがでしょうか？

考察

☆テーピング方法の考察



ポイント

- 上肢可動時、可動域増大に伴いテープの張力が増強する。
- 中軸側より鎖骨を越えて貼る。
- 神経圧迫症状等に注意する。

症例

- 柔道(81kg級)、高2男、右組み、得意技:大外刈り・大内刈り・内股
- 主 訴: 右(釣手側)肩の痛み
 - 受傷状況: 立ち技乱取り中、技を受けて右肩から落ち受傷
 - 診断対応: 右肩鎖関節脱臼 ⇒ 保存療法
⇒ 試合出場を前提に対応
 - 初期評価:
圧痛①肩鎖関節部(+) ②烏口鎖骨韧带部(±)
自動挙上痛(+) 鎖骨浮き上がり(±) piano key sign(+)
high arc test > horizontal arc test > distraction test



□ 関東甲信越スポーツメディカルサポート会議報告

山梨大学医学部附属病院 リハビリテーション部 小尾 伸二

部内研修
部員対象 月2回 15年間継続

知識・技術研修

討論形式 ⇄ 講義形式
理論研修 ⇄ 実技研修
医学系研修 ⇄ 体育系研修
臨床系研修 ⇄ 基礎系研修

実践研修

1人1チーム担当を必須
(1か月2~4回+試合帯同)
経験者と新人の組合せ
数年でローテーション

形式を憶えるのではなく
理論的に考え、応用し、実践できる

④ 語学力の向上

英語コミュニケーションのマニュアル作成

甲府国際オープンテニス大会 男子・女子 (ITF国際テニス大会)
スペシャル・オリンピック in 長野
U-14須玉国際ジュニアテニス大会 (ATFアジアテニス大会)

英語力の乏しさを痛感!

剣道世界大会 in 山梨 (2019)

東京オリンピック・パラリンピック (2020)

関東甲信越ブロック各都県のスポーツに関わる現状や問題点を情報交換し、レベルの底上げと協力体制を築いていくことが目的の本会議ですが、来年より正式に関プロ協議会の組織として動くことになりました。今回は、東京オリンピック・パラリンピックで選手村診療所や各競技会場、練習施設や宿泊施設においても理学療法士が支援するものと思われるため、高いレベルでの理学療法サービスが提供できるよう各都県で早急に人材を育成し東京に協力することが了承されました。また、その参考に15年以上継続した研修と活動をしている「山梨のスポーツ理学療法教育の方法」を紹介いたしました。すでに部員の中には英会話の勉強を始めた者も数名おりますが、今からでも遅くありません。皆さんも一生に1度あるかないかの大きな舞台に参加し、ボルトやソープ、イシンバエワやシャラポアなどその時代の伝説の選手たちの隣で仕事してみませんか？ 上手くすれば友達になれるかも知れませんよ。

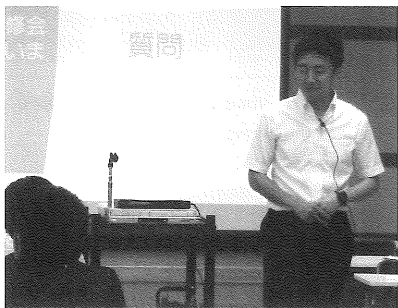
● 問い合わせ先：社会局スポーツPT部 小尾伸二

(山梨大学医学部附属病院リハビリテーション部内 TEL 055-273-9805)

学術局 生涯学習部発

□ 新人教育プログラム活動報告 I

平成27年度の新人教育プログラムが始まりました。8月4日、山梨県立青少年センターにて山梨県理学療法士会会長、小林伸一先生のお話から始まり、山梨リハビリテーション病院の笠井雄太先生に講義をして頂きました。小林先生には労働法を含んだ理学療法における法律や医療法、理学療法士としての責任、チーム医療、リスク管理についての講義をして頂きました。笠井先生には生涯学習や理学療法の専門領域についてのお話をして頂きました。



私たちが行う理学療法には様々な専門分野があり、各々の興味のある分野への学習を行い、知識を深めていきたいと思いました。二つの講義から、理学療法士という職種が認知され信頼され続けられるよう一人ひとりが言動や行動に責任を持ち、患者様に接していくことの重要性を学ぶことが出来ました。より良い理学療法士を目指して山梨県の仲間たちと協力し合い頑張っていきたいです。

山梨リハビリテーション病院 倉澤 綾代

- 問い合わせ先：学術局生涯学習部 遠藤 公士
(リハビリセンター 柏塾 TEL 0553-39-8433)

お知らせ

事務管理局より

慶弔申請の窓口は事務管理局です

- 詳しくは、士会ホームページの「お問い合わせ」より、「会員慶事通知フォーム」「会員弔事通知フォーム」をご使用ください。

入会申請について

新人職員の皆様、入会申請はお済みでしょうか？ もし協会からの刊行物が届いていない場合、入会手続きがなされていない可能性があります。是非、ご確認ください。

財務部より 会費納入ご協力ありがとうございます。

会費未納の会員の方々にのお知らせ申し上げます。再度、確認のご連絡をさせていただく場合がございます。予めご了承ください。

休会規定について

- 休会期間は1年単位となります。(4月1日から翌年3月31日)
年度途中の休会も終期は3月31日となります。
 - 休会満了までに、復会・休会継続(更新)・退会の手続きが必要です。
満了時まで手続きがない場合は、規定により退会となります。
再度入会を希望する場合は、入会手続き及び入会金が必要となり、新人教育プログラムの再履修が必要となります。
尚、「休会継続」の手続き受付期間は、1月1日～3月31日とさせていただきます。
 - 休会中に改姓・連絡先の自宅住所が変更になった場合は、マイページより異動申請にてお手続きください。
 - 休暇中の研修会等への参加資格はなくなります。
- * インターネットからの手続きができない場合は、日本理学療法士協会へご連絡ください。

- 問い合わせ先：事務管理局 藤田 yamanashi.pt.jimu@gmail.com

第19回山梨県理学療法士会学術集会開催のお知らせ

来る平成28年1月17日(日)に第19回山梨県理学療法士会学術集会を下記の通り開催いたします。今回は「中枢神経疾患患者の移動に対する臨床推論」をテーマに山梨リハビリテーション病院の伊藤克浩先生を講師にお迎えしご講演いただきます。士会員の皆様方には奮ってご参加いただきたく存じます。

また今大会より事前参加の申し込みは①県士会ホームページ内の申し込みフォームからの登録または②学会誌に同封のFAX用紙での登録の2通りの方法が可能になりました。事前参加される方はどちらかでの登録をお願いいたします。また例年通り、事前参加登録をされた方には昼食をご用意いたします。

当日は振るってのご参加をお待ちしております。同時に託児に関しても募集を行いますので、奮ってお申し込み下さい。

1. 日 時 平成28年1月17日(日) 午前9:30受付開始 10:00開演予定

2. 会 場 桃源文化会館(〒400-0222 南アルプス市飯野2971)

3. プログラム 午前:特別講演「中枢神経疾患患者の移動に対する臨床推論」

山梨リハビリテーション病院 伊藤克浩先生

午後:一般演題、シンポジウム

4. 対象者 県士会所属理学療法士

※発表主演者には、新人教育プログラム単位3単位 C-6の単位が認定されます。

5. 事前参加申し込み方法 (H28年1月8日締切)

① Web から申し込む

(社)山梨県理学療法士会ホームページ (<http://ypta.jp/>)にて事前参加登録を行って下さい。

② FAX で申し込む (従来の申込方法です)

学会誌に同封されている専用FAX用紙で下記連絡先までお送りください。

6. 託児室申し込み

○開設時間 平成28年1月17日(日) 9:30~16:00

○対象年齢 0歳~小学校低学年 ○定員 同一時間帯約10名程度

○保育料金 無料(保険料は県士会が負担致します)

○食 事 昼食、おやつは各家庭での準備をお願いします。

○申込方法 件名を「託児室申し込み」とし、下記必要事項を記入の上、平成27年12月26日(日)までに学術集会部へE-mailにてお申し込み下さい。確認後、正式な利用書類をお送り致します。

※託児室にお申し込み後、一週間以内に受理のお知らせがない場合は、お手数ですが下記電話番号にご連絡下さい。またお預かりした個人情報は学会運営以外には使用致しません。

必要事項(託児室)

- ① 申込者氏名
- ② 所属(施設名 or 自宅)
- ③ 連絡先住所、携帯電話番号、E-mail(PC)
- ④ お子様の年齢と人数
- ⑤ その他、ご要望等

申し込み・問い合わせ先

〒406-0004 山梨県笛吹市春日居町小松855
山梨リハビリテーション病院 理学療法課内
学術集会部 菊池 信、清水一彦、鮎川将之
TEL 0553-26-3030
FAX 0553-26-4569
E-mail: gakkaiibu.yamanashi@gmail.com

リレーエッセイ

～途絶えることのない
バトンを君に～

「リレーエッセイ」とは・・・

士会員を対象に、身近な出来事・お国自慢・今はまっていること・病院紹介など、何でもよい(ただし、誹謗や中傷の内容は除外します)ので400字程度で執筆していただき掲載していく企画です。

以前のSupportersにあった「会員のひろば」との違いは、会員同士の輪を広げること、執筆された方が次の執筆者を決めて、紹介していただくという点です。無理やり書いていただくわけではなく、執筆者同士の繋がりを大切にしていきたいと考えていますので、依頼を受けた方は快く執筆していただけたらと思います。

Part28-1

甲府共立病院 向 真史

湯村温泉病院の深澤愛美先生からバトンを受け取りました、甲府共立病院の向 真史です。

福岡空港から西唐津行きの地下鉄に乗りしばらくすると地下鉄は地上に出ます。玄海灘の美しい景色を右手に眺めながら1時間ほどで、私の故郷、佐賀県の唐津に到着します。佐賀県は福岡県と長崎県に



挟まれた九州の北部にあります。唐津市は人口10万人程度の玄海灘に面した街です。焼き物の「唐津焼」や「唐津くんち」という祭りが有名で、虹の松原など景色が美しい観光でも有名な街です。普段は静かな街ですが、唐津くんちが行われる11月2～4日の三日間は「エンヤー、エンヤー」の声に祭りばやしがあちらこちらから聞こえてきて街中が活気づきとても賑やかになります。唐津市の呼子のイカ料理もとても美味しく、透きとおった活造りはとても甘く美味しいです。山梨からはちょっと遠いですが、学会など出張で九州に行かれる機会があれば是非立ち寄ってみてください。

今回は、『甲府共立病院 原 啓太先生』です。宜しくお願い致します。

Part28-2

湯村温泉病院 手塚祥平

甲府脳神経外科病院の宮澤 僚先生よりバトンを受け取りました。湯村温泉病院の手塚祥平です。

去年の今頃、私は病院の先輩に誘われ社会人として人生初の忘年会に参加させていただきました。飲み会の帰りに神様の悪戯か不運にも交通事故に巻き込まれ、1か月ほど入院する事になりました。私は幼少期から体が弱く入退院を繰り返した経験があり、入院する事には抵抗はなかったのですが、就職1年目という事もあり先輩方や同期のみんなに申し訳ない気持ちを感じました。入院中は怪我による体の痛みや退屈な時間も多く同期や先輩たちの来訪はとてうれしかった事を今でも覚えています。

この入院から「患者さんも苦痛や不安感などのつらい事に耐えながら、治療を受けている」という事を理学療法士になってから実際に経験できた事は貴重な体験だったと思っています。日々の業務からこのような体験を忘れ自分本位な考えになる事もあります。しかし、この経験を思いだし何が重要なのかを考え見直してみようと思います。

今回は、『笹本整形外科 杉山弘樹先生』です。よろしくお願いします。

お知らせ

第4回学術研修会

- テーマ：ニューロリハビリテーションを考える
 - 日 時：1日目：平成28年2月12日(金)、2日目：平成28年2月19日(金)
両日とも19:00~21:00(受付18:30~)
 - 場 所：アピオ甲府
 - 講 師：1日目：太田昭生先生(石和共立病院 副院長 リハビリテーション科医師)
2日目：高村浩司先生(健康科学大学 理学療法科 講師)
- ※詳細は山梨県理学療法士会のHPで確認して下さい。

●学術局学術研修部 名取大輔
(石和共立病院リハビリテーション科内 TEL 055-263-3131)

原稿を募集しています

会報部では会員の声を少しでも多く取り入れたいと考えております。テーマ等は自由です。



内容の規定はありませんが、個人・団体等の中傷あるいはこれに準ずるものは不可。

1. 研修会・勉強会等の開催案内・報告内容など
2. 各種お知らせ事項など
3. 体験記など
4. その他

●問い合わせ先：広報局 会報部 菊池 悟
一宮温泉病院 いちのみや訪問看護ステーション
TEL 0553-20-5255 E-mail:kikuchisatoru560905@yahoo.co.jp

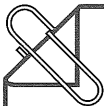
※第147号発行は、
3月下旬を予定しています。

原稿の締め切りは、

1月下旬です。

編集後記

年内も余日少なくなりましたが、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか？本号では第34回関東甲信越ブロック理学療法士学会を特集しました。お忙しい中、ご協力いただきました先生方には心より感謝申し上げます。今後も皆様の声を反映できる会報誌作成を心がけていきたいと思っております。厳しい寒さとなりましたが、会員の皆様におかれましては、体調を崩さぬよう良いお年をお迎えください。 菊池 悟



- 発 行 ● 一般社団法人 山梨県理学療法士会
- 代 表 ● 小林 伸一
- 企画・校正 ● 菊池 悟 水上 卓 岩間 拓也 上野 貴史
- 編集・印刷 ● 有限会社 ナカガワ
- 会報部 ● 〒405-0077 山梨県笛吹市一宮町坪井 1754
いちのみや訪問看護ステーション TEL 0553-20-5255 / FAX 0553-20-5256
一宮温泉病院 TEL 0553-47-3131 / FAX 0553-47-3434
E-mail:kikuchisatoru560905@yahoo.co.jp